

物語の中世



[物語の中世_下载链接1](#)

著者:保立 道久

出版者:講談社

出版时间:2013-10-11

装帧:文庫

isbn:9784062921992

竹取物語、海幸彦・山幸彦、宮廷説話、芋粥、桃太郎、物ぐさ太郎、鉢かづき……。

本書は歴史学・社会史研究の立場から神話・説話・民話という素材に接近する。

絵巻物などの絵画に隠されたシンボルを読み解く刺激的な論考は、〈物語世界〉をと
おして中世の〈現実〉とそこに生きた人々の生活や意識に迫る。

新しい中世社会像の構築に貢献した先駆的研究。

作者紹介:

著：保立 道久（ホタテ ミチヒサ）

1948年、東京生まれ。1973年、国際基督教大学卒業。1975年、東京都立大学大学院
人文科学研究科修了。東京大学史料編纂所助手、助教授、教授を経て、2013年に退
任（2005～2007年、同研究所所長）。東京大学名誉教授。専攻は日本中世史。

■主な著書：

『中世の愛と従属——絵巻の中の肉体』平凡社、1986年

『平安王朝』岩波新書、1996年。

『中世の女の一生』洋泉社、1999年。

『黄金国家——アジアと平安日本』青木書店、2004年。

『歴史学をみつめ直す——封建制概念の放棄』校倉書房、2004年。

『義経の登場——王権論の視座から』日本放送出版協会、2004年。

『かぐや姫と王権神話——『竹取物語』・天皇・火山神話』洋泉社、2010年。

『歴史のなかの大地動乱——奈良・平安の地震と天皇』岩波書店、2012年。

目録: 【1】 神話の世界と中世

第一章 『竹取物語』と王権神話——五節舞姫の幻想

第二章 『彦火々出見尊絵巻』と御厨的世界

——海幸・山幸神話の絵巻をめぐる

第三章 巨柱神話と天道花

——日本中世の氏神祭と農事暦

補論 歴史学にとっての柳田国男

【2】 中世説話の世界

第四章 内裏清涼殿と宮廷説話

第五章 説話「芋粥」と荘園制支配——贈与と客人歓待

第六章 虎・鬼ヶ島と日本海海域史

第七章 領主本宅と煙出・釜殿

【3】 中世民話の世界

第八章 腰袋と『桃太郎』

第九章 『物ぐさ太郎』から『三年寝太郎』へ

第一〇章 秘面の女と『鉢かつき』のテーマ

あとがき

文庫版あとがき——倭国神話論のために

初出一覧

• • • • • [\(收起\)](#)

[物語の中世 下载链接1](#)

标签

民俗

歴史

中世

评论

历史研究和文学、民俗研究结合的完美范例，论文集，没有读完所有论文，但启发性的东西很多，研究物くさ太郎、鉢かつぎ姫、彦火出见尊绘卷的切入视点非常有趣

[物語の中世 下载链接1](#)

书评

[物語の中世 下载链接1](#)